

不適切な伝達手段の例

- ・不適切な信号発光(形状、色)
- ・指差呼称、復誦などのしつけ不足
- ・一方的な伝達(多数のFAX送信など)

間違った指示の混入の例

- ・意図的な改ざん
- ・類似標識の混在
- ・類似伝達手段の混在

(5) 指示(口頭・電話・メール・FAXなど光、音、旗)

(A1) 指示が伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(A2) 指示が遅れる

(A3) 間違った指示の混入

悪環境の例

発光を認識できない理由

- ・雪、雨、霧による視界不良
- ・逆光が強い
- ・線路が大きくカーブしている
- ・途中にトンネルがある
- ・途中に遮蔽物(木など)がある
- ・不適切な装備(サングラスなど)
- ・騒音で聞こえない

指示主体(人)

(1) Not Providing (指示が出ない)

(HC1) 指示が必要と思っていない

(HC2) 指示を知っていたが忘れる

(HC3) 指示したつもり

(HC4) 指示・フィードバックを見逃して操作をしない

(2) Providing causes hazard (間違った指示、遅れた・早すぎる指示)

(HC5) 指示内容を間違える

(HC6) 思い出す・手間取って遅れる

(HC7) 指示内容を勘違い(取り違える)

(HC8) 違う相手に指示を出す

(HC9) フィードバックを誤解して間違った操作を行う

(HC10) 確認せずに見込みで指示を出す

(6) フィードバック(口頭・電話・メール・FAXなど)

(F1) フィードバックが伝わらない(悪環境で障害/伝達手段故障/不適切な伝達手段)

(F2) フィードバックの遅れ

(F3) 間違ったフィードバック

(F4) フィードバックでない

被指示主体(人)

(3) オMISSIONエラー

(HP1) 指示が来たが受け取らない

(HP2) 指示が来たがスキル不足で実施できない

(HP3) 実行結果のフィードバックを忘れる

(4) COMMISSIONエラー

(HP4) 指示を誤解して実行する

(HP5) 指示どおりの実行ができないまたは遅れる

(不適切な環境、スキル不足、健康状態不良)

(HP6) 思い出す・手間取って遅れる